

任意団体 全国環境絵日記実行委員会

環境プラットフォームづくりを目指した「環境絵日記」事業の実施

環境絵日記の応募数	30,655人
環境絵日記に参加した地域の満足度	100%
活動の全体目標に対する達成度	90%



実施地域担当者による意見交換会

◆成果と工夫したポイント

●成果

子どもたちが描いた環境絵日記において、各地域から寄せられた3年間の総応募数は、延べ79,813作品となり、すべての作品をウェブサイト上に掲載するとともに、各地域においても展示会等を行った。

●工夫

環境絵日記の全国展開において、各地域が取り組みやすいよう募集等のノウハウや応募用紙の提供を行ったこと。

課題

子どもたちが作品に込めたメッセージを活用する手法が十分に行えておらず、子どもの環境への想いを社会に発信するとともに、全国的なネットワークを構築すること。

目標

子どもたちが環境問題について考え、絵と文章で表現する「環境絵日記」を通じ、①環境に対する知力・行動力を育む。②行政等と連携し環境プラットフォームを構築する。③子どもたちの想いを発信・具現化する。

活動内容

- ・地域における環境絵日記の推進を図るため、各地域を訪問し、事業概要の説明・ヒアリング及び実施ノウハウと、全国事務局にて作成した統一の応募用紙(3万枚)を希望する地域に提供した。
- ・環境絵日記の普及拡大を目的に、各地域の担当者を集めた意見交換会を実施した。
- ・企業・団体にとって「環境絵日記に込められた子どもたちの想いを具現化すること」のメリットを検討する一環として、応募作品具現化のトライアルを行った。



環境絵日記描き方講座

達成できなかったこと

当委員会にて全国各地域の子どもたちの作品をもとに協賛を得ることは、著作権等の問題もあり難しいことが判明。よって各地域にて自主運営化を図れるよう活動方針を変更した。

今後の展望

- ・各実施地域にて、環境絵日記を独自に実施。
- ・予算が未計上の地域においては、自治体において予算化を図る。